

1. 単元名や教材名, 児童の実態

単元名	じどう車ずかんをつくろう
教材名	「しごととつくりをたしかめましょう。」
教材について	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元では, 思B「書くこと」(1)イの「自分の思いや考えが明確になるように, 事柄の順序に沿って, 簡単な構成を考える」が指導事項である。 ・本時では, 本や図鑑などを使って紹介したい自動車について調べる活動を通して, 「しごと」とそれに合わせた「つくり」を見つけ出せるようにする。
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や図鑑を読むことが好きな児童が多い。しかし, 書くことに苦手意識を持つ児童や, 文字や言葉の習得ができていない児童がいる。そのため, 「書いてみたい」という児童の気持ちを大切にしながら, 図鑑の見方を確かめつつ, かぎカードの「言葉」に着目させて, 必要な情報を正確に見つけられるようにしたい。

2. 研究内容の視点から

1. どの子も考えをもつことができる学習過程の工夫

(1) かぎカードで考える視点を明確にして, 自分の考えをもつ工夫

本時では, かぎカードを本や図鑑から「しごと」と「つくり」を見つけ出す場で提示する。かぎカードで「情報の収集の観点」を与えて, 「しごと」に合った「つくり」を取捨選択できるようにする。見つけた「しごと」と「つくり」を書くためのワークシートを用意することで, 整理しながら情報の収集をすることをめざす。

★かぎカード

しごと つくり そのために ために

2. 考えを広め深める学習過程の工夫

(2) 課題に対して, 自分の考えを見つめ直す場の設定

本時では, 自分の見つけ出した情報を, 質問カードを基に音読して仲間と交流する。この活動を通して, 自分が見つけた「しごと」と, 「つくり」がつながっているかを確かめることができるようにする。

3. 単元を貫く課題, 出口の姿

●単元を貫く課題

しょうかいしたいじどう車の「しごと」と「つくり」を見つけて, じぶんだけのじどう車ずかんをつくろう。(相手: 仲間やお家の人に)

●児童の意識

〇〇さんの文章は, その自動車の「しごと」をするための「つくり」が書いてあって, よく分かるな。

「しごと」→「つくり」の順番に書くと, つたえたいことが相手に分かりやすいな。

●単元の出口の児童の姿

本単元では, 事柄の順序に沿って, 簡単な構成を考えて書くことができる。

4. 単元指導計画 1年国語「じどう車ずかんをつくろう」

次	時間	学習活動	評価規準と評価方法
第1次	1	①「じどう車ずかん」を作るという学習課題を知る。 ②図鑑に書くことを話し合う。 ③「じどう車ずかん」の作り方を確かめ、学習の見通しをもつ。	・進んで「じどう車ずかん」の作り方を話し合い、学習の見通しをもとうとしている。[発言・記述]
第2次	2 (本時)	④本や図鑑などを使って、紹介したい自動車の「しごと」とそれに合わせた「つくり」を見つける。	知：事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。[発言・記述] 思：「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。[記述]
	3 ・ 4	⑤調べたことを基に、紹介したい自動車の「しごと」と「つくり」を文にまとめる。 ⑥順序などに間違いがないか確認し、絵などを描き、「じどう車ずかん」を完成させる。	態：分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。[発言・記述]
第3次	5	⑦完成した「じどう車ずかん」を読み合い、感想を伝え合う。 ⑧学習を振り返り、自分の文章のよいところを見つけて書く。	・積極的に「じどう車ずかん」を読み合って感想を伝え合いながら、自分の文章のよいところを見つけようとしている。[発言・記述]

5. 本時の展開 (2/5) (1年国語「じどう車ずかんをつくろう」)

(1) 本時のねらい

図鑑を使って自動車について調べる活動を通して、紹介したい自動車の「しごと」と、それに合わせた「つくり」を見つけることができる。(情報の収集)

(2) 本時の展開

	ねらい	学習活動	教師の指導・援助と目的
つかむ	今までの学習をふり返り、本時の課題をつかむことができる。	1. 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。 ・「しごと」と「つくり」が書いてあります。 ・「そのために」で繋がっています。 (かぎカード) 「しごと」「つくり」「そのために」「ために」 2. 本時の課題を確認する。 しょうかいしたい車の「しごと」と「つくり」を見つけよう。	★教師の作った図鑑を提示し、図鑑を書くためには、「しごと」と「つくり」の情報が必要であることを再度認識させて、本時の課題につなげる。(単元を貫く課題について、課題意識の連続性をもたせる。)
わかる	かぎカードをヒントに、図鑑から、「しごと」と「つくり」の文を見つけ出すことができる。	3. 紹介したい自動車の「しごと」と「つくり」を見つけ出す。 ①紹介したい自動車の情報を確認する。 ①「しごと」が書かれている箇所に、赤鉛筆で線を引く。 ②見つけた「しごと」をワークシートに書く。 ③「しごと」に合った「つくり」が書かれている箇所に、青鉛筆で線を引く。 ④見つけた「つくり」をワークシートに書く。 ・早く終わった児童は、紹介する自動車の絵を描く。	★「しごと」→「つくり」の順序で情報を見つけ出せるように、情報を見つけ出す手順を、かぎカードで確認する。 ★「しごと」と「つくり」は「そのために」でつながることをかぎカードを使って確認する。 (考えの整理、構築。) ★「これは、本当にそのしごとをするためのつくりかな。」と声をかけながら個人追究を支援する。
深める	自分の文と仲間の文を比べて、順番や書き方に間違いがないか確かめ合う。	4. ペアで交流をする。 ・ワークシートに書き込むことができたら、質問カードを基に、書いた文を仲間と確かめ合う。 (質問カード) ・紹介する自動車は何ですか。 ・その自動車の「しごと」は何ですか。 ・その「しごと」をするための「つくり」は何ですか。 ・その他の質問。 ・交流後、必要に応じて修正する。 5. 教科書に立ち返って書き方を確認する。	★児童同士で「しごと」に合った「つくり」になっているか確かめるために、ロイロノートで質問カードを表示する。 ★図鑑の絵や文を見ながら、本当にそのつくりでよいか確かめるように促す。 (ペア交流による考えの比較、共有)
まとめる	本時の学習の内容を振り返ることができる。	6. まとめ じどう車ずかんをつくるには、「しごと」にあった「つくり」を見つけることがたいせつだ。 7. 学習を振り返り、◎○△で自己評価をする。 ・しょうかいしたいじどう車の「しごと」を見つけることができた。 ・しょうかいしたいじどう車の「しごと」にあった「つくり」を見つけることができた。 8. 次時の見通しをもつ。 ・次時は、いよいよ「じどう車ずかん」を作ること伝える。	評価規準 【思考力・判断力・表現力等】 ・紹介したい自動車の「しごと」と、しごとに合った「つくり」の情報を、図鑑から見つけることができる。(発言・ワークシート) ★単元を貫く課題に対して簡単に振り返り、次時の見通しをもたせる。